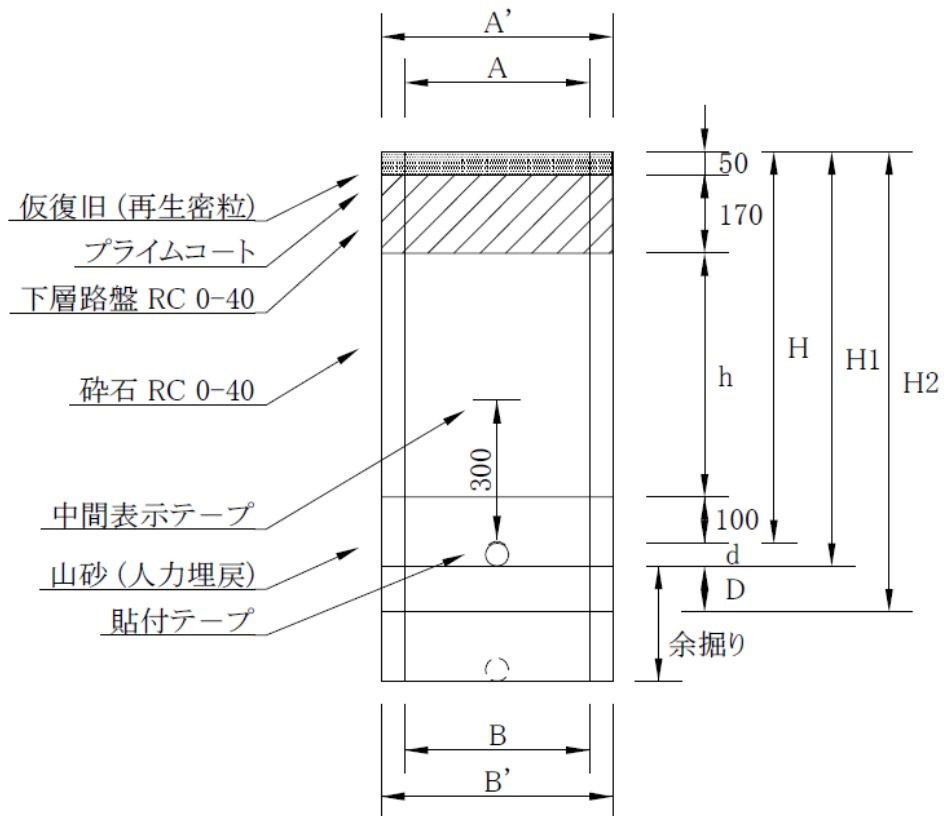


第2章 掘削復旧構造図

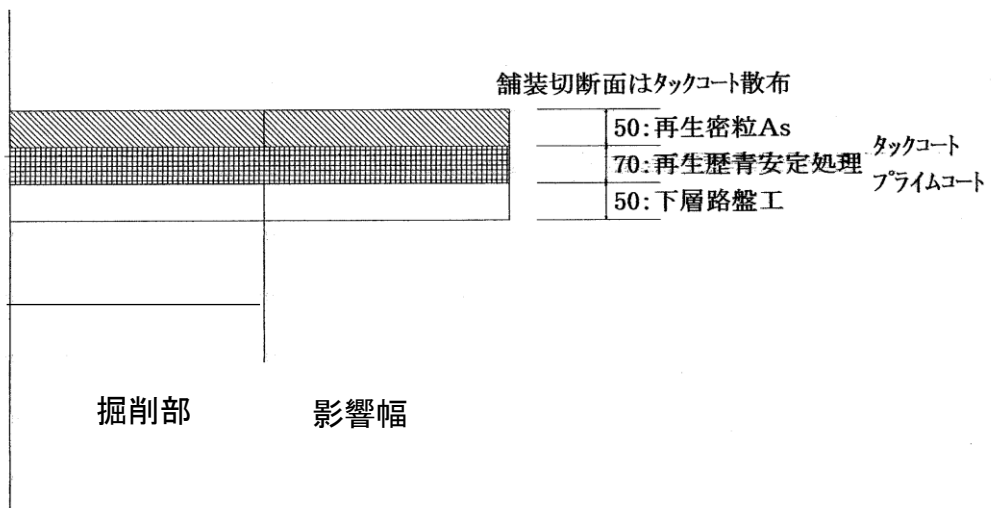
1 アスファルト舗装

掘削跡復旧構造図

県A タイプ
 県A (撤去有)タイプ
 県A 撤去タイプ
 県A 試掘タイプ

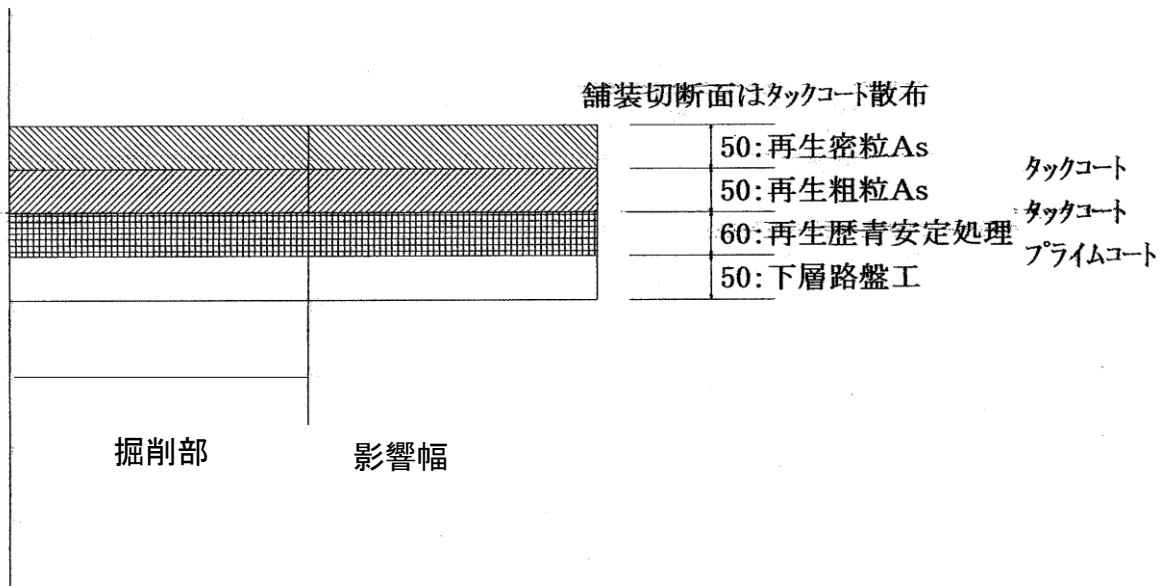
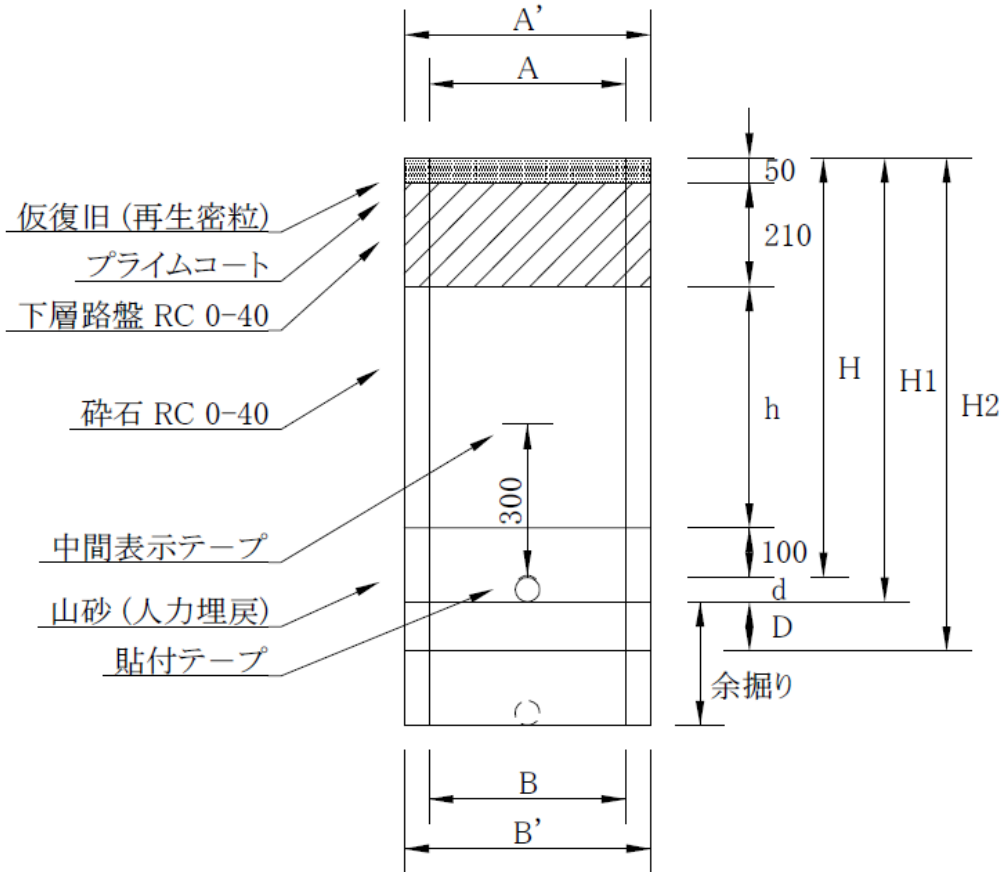


舗装復旧構成図



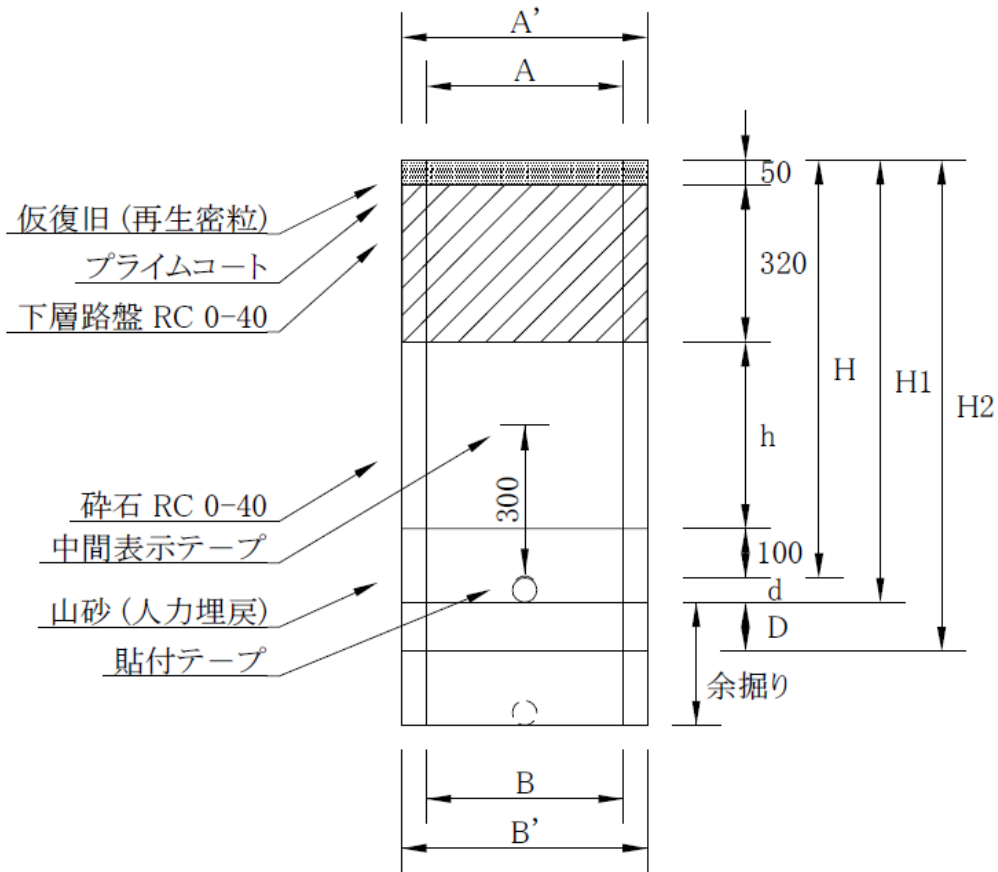
掘削跡復旧構造図

県B タイプ
 県B (撤去有)タイプ
 県B 撤去タイプ
 県B 試掘タイプ

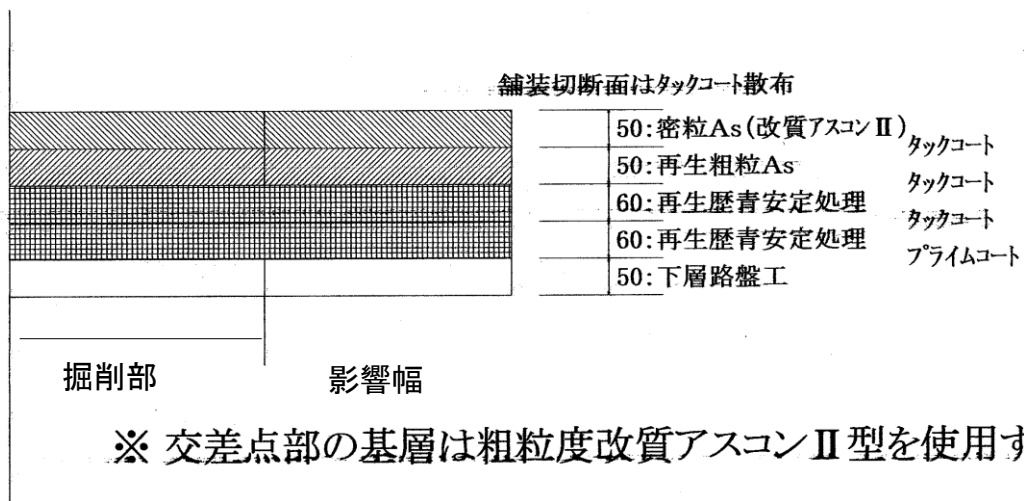


掘削跡復旧構造図

県C タイプ
 県C (撤去有)タイプ
 県C 撤去タイプ
 県C 試掘タイプ

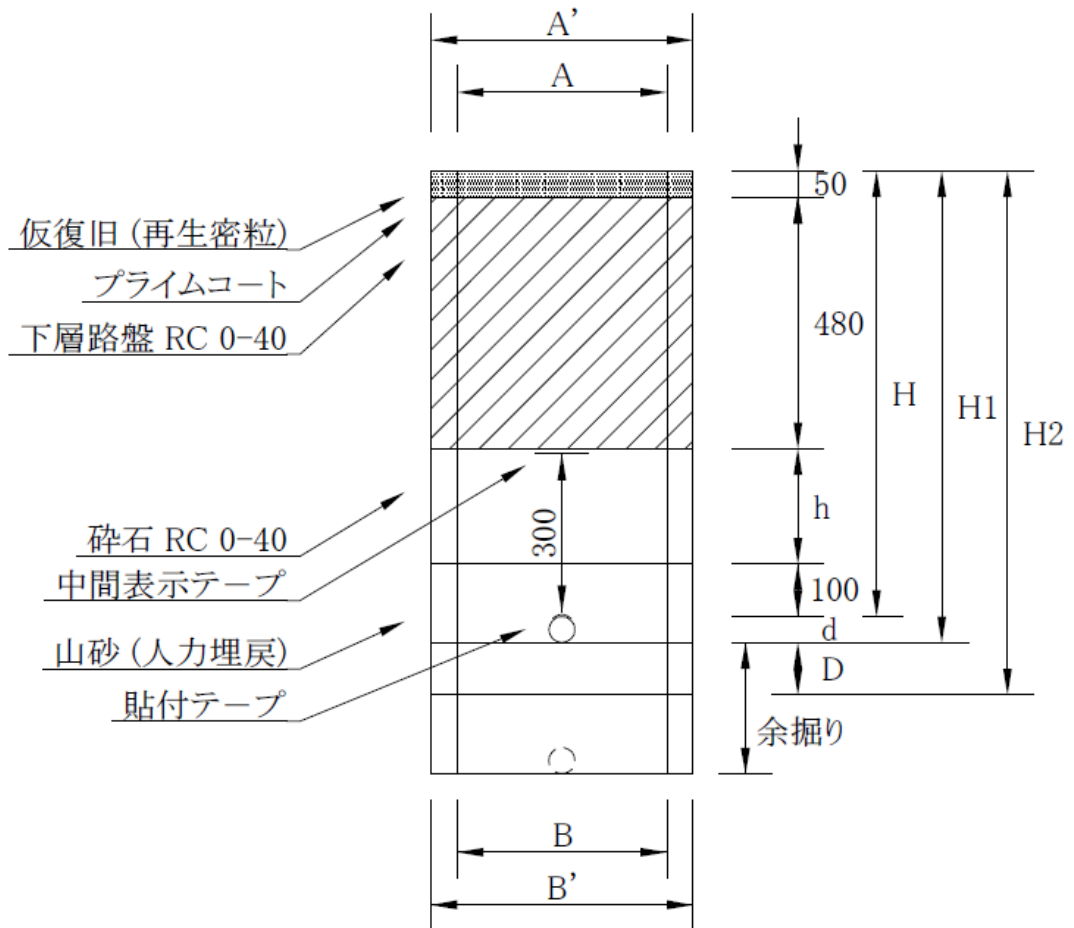


舗装復旧構成図

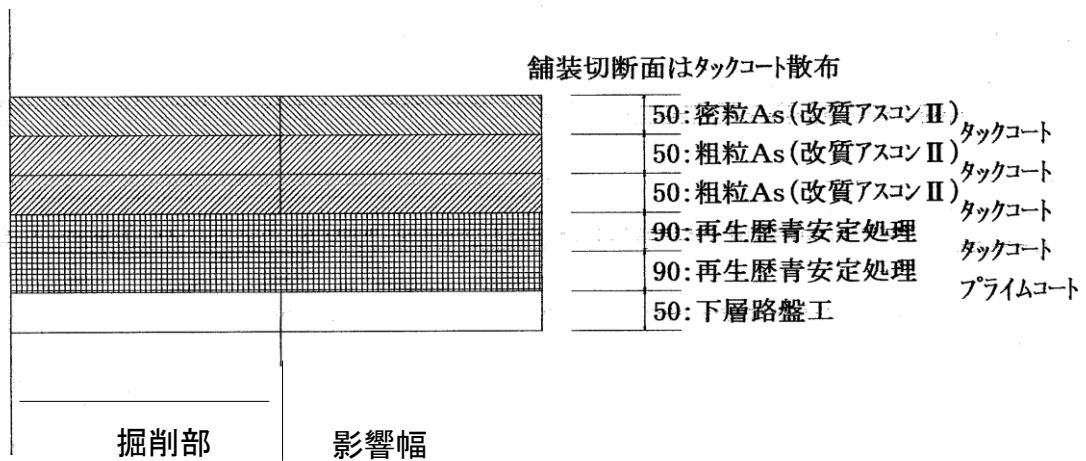


掘削跡復旧構造図

県D タイプ
 県D (撤去有)タイプ
 県D 撤去タイプ
 県D 試掘タイプ

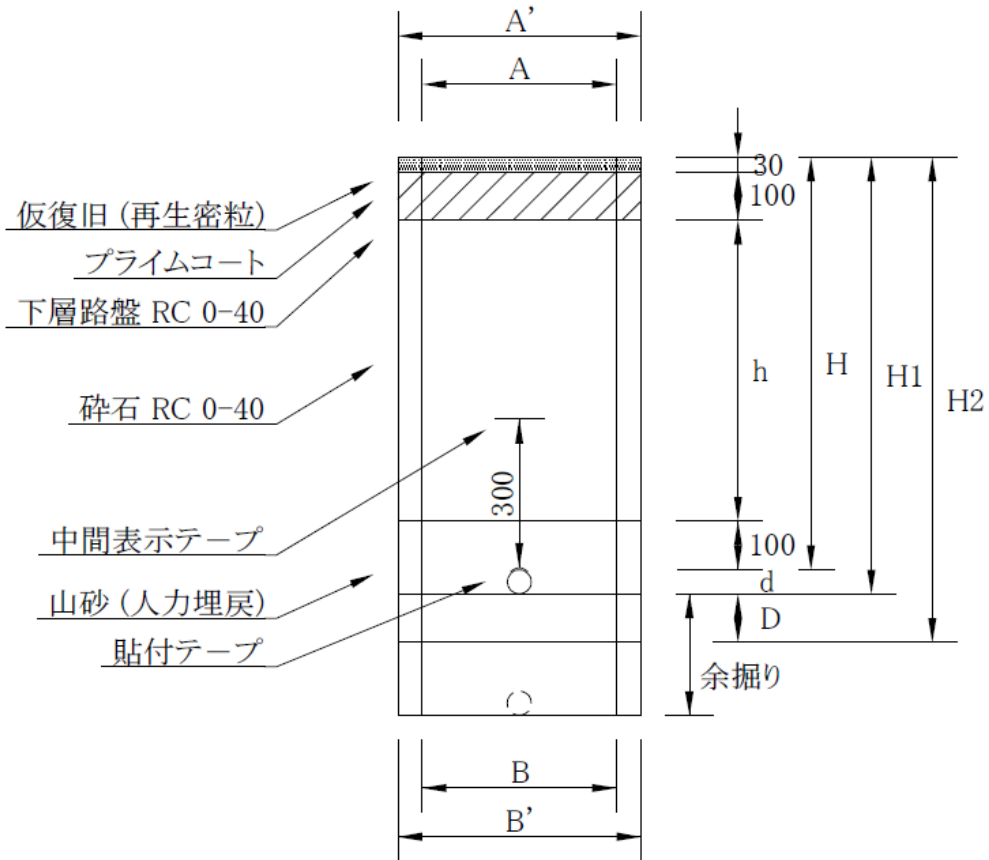


舗装復旧構成図

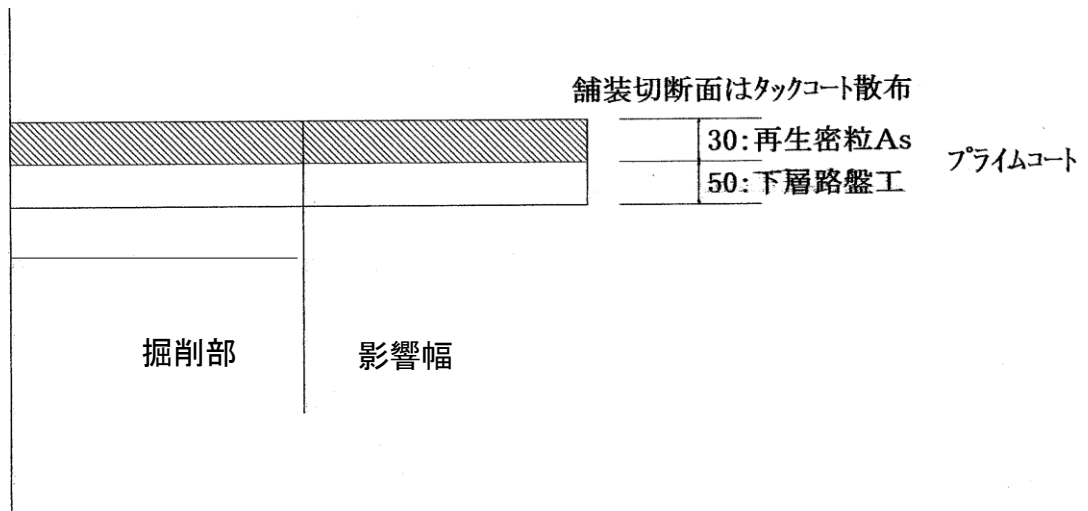


掘削跡復旧構造図

県H タイプ
 県H (撤去有)タイプ
 県H 撤去タイプ
 県H 試掘タイプ

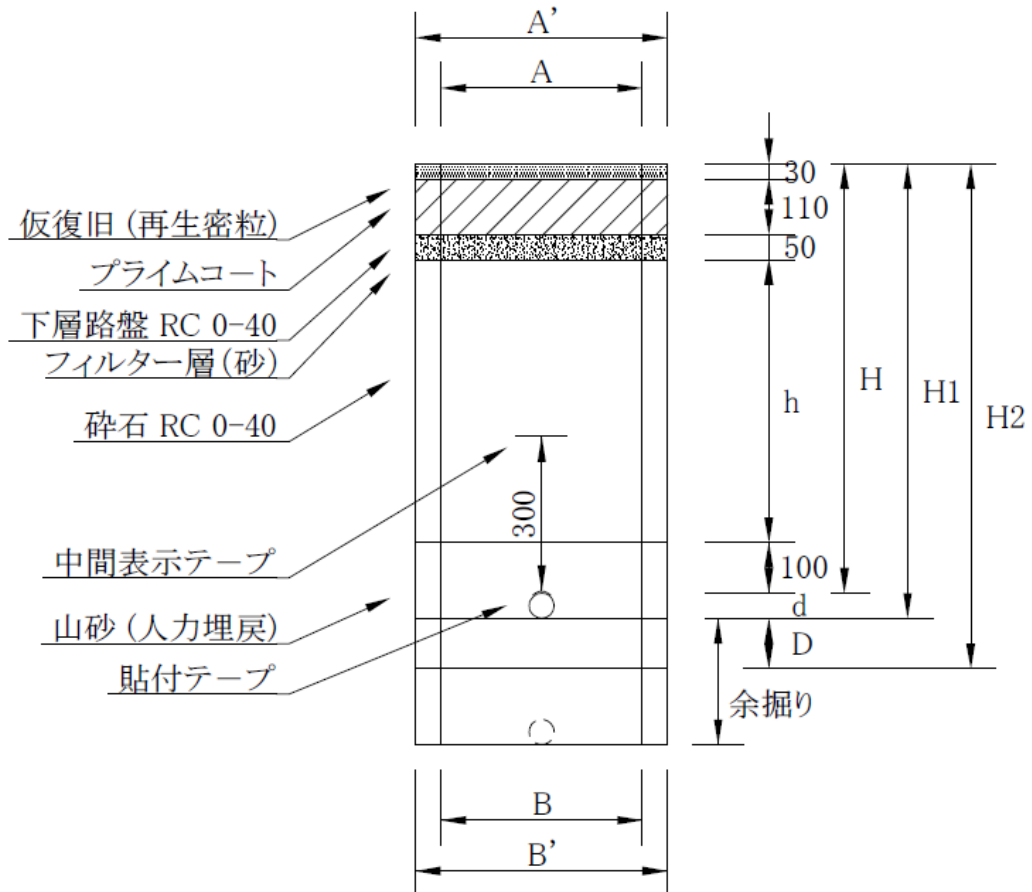


舗装復旧構成図

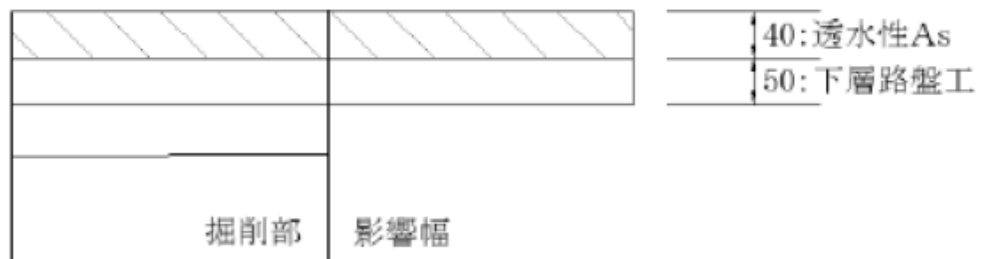


掘削跡復旧構造図

県H(透水性) タイプ
 県H(透水性) (撤去有)タイプ
 県H(透水性) 撤去タイプ
 県H(透水性) 試掘タイプ

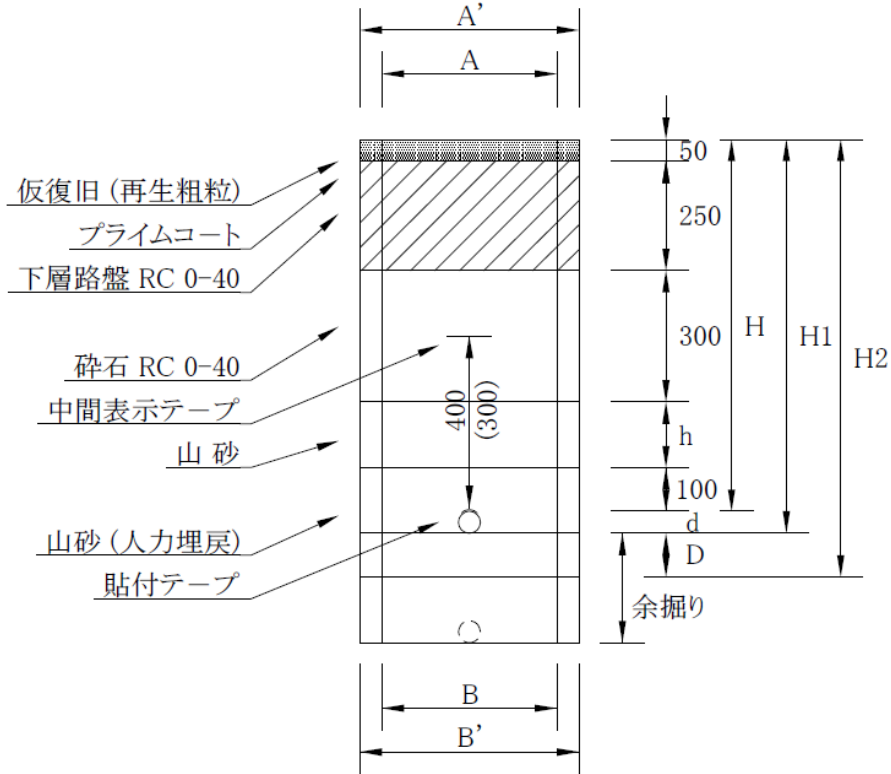


舗装復旧構成図

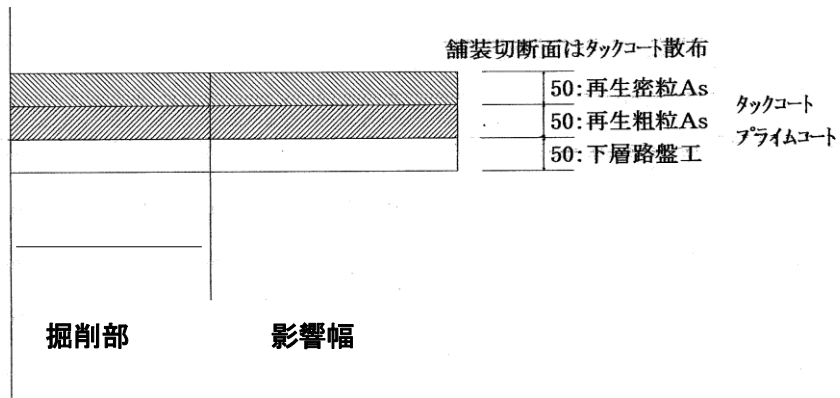


掘削跡復旧構造図

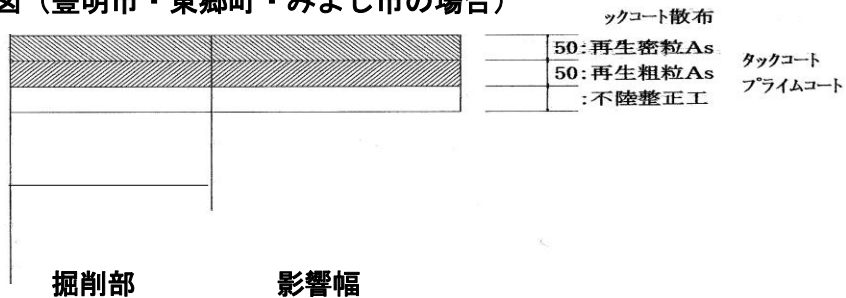
- A-1 タイプ
- A-1 (撤去有)タイプ
- A-1 撤去タイプ
- A-1 試掘タイプ



舗装復旧構成図



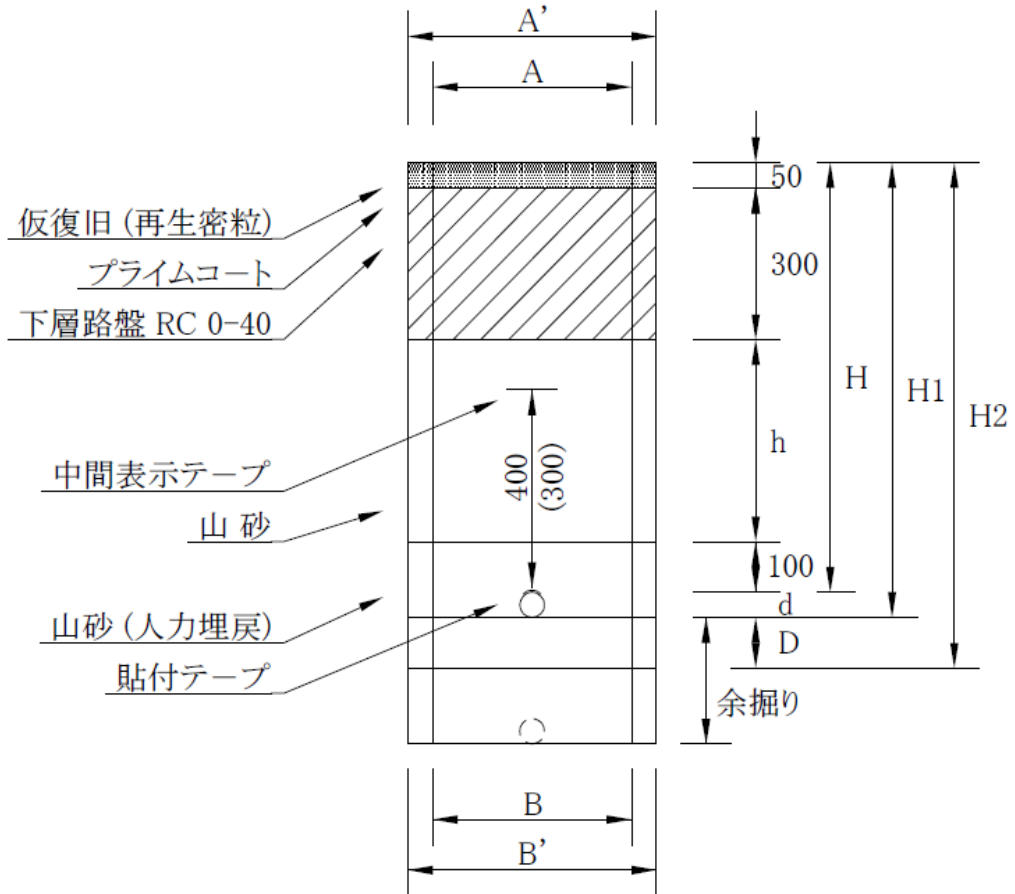
※ 舗装復旧構造図 (豊明市・東郷町・みよし市の場合)



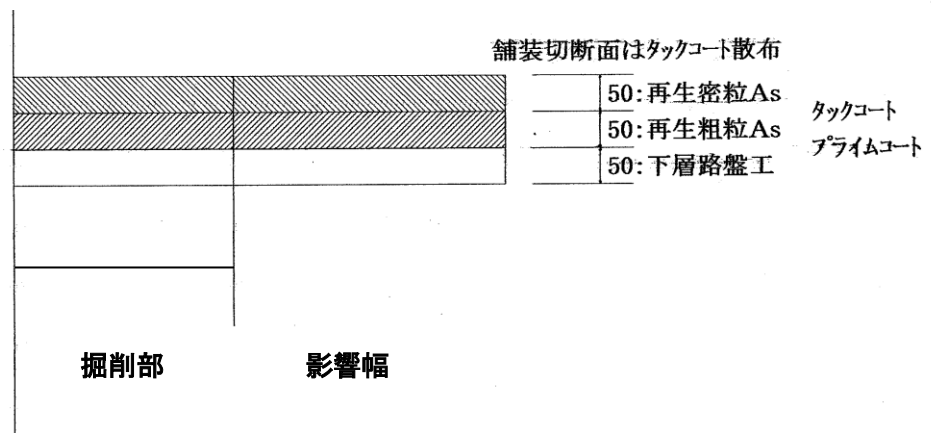
掘削跡復旧構造図

長久手市	Lタイプ
東郷町	町道Ⅱタイプ

A-1 タイプ
 A-1 (撤去有)タイプ
 A-1 撤去タイプ
 A-1 試掘タイプ



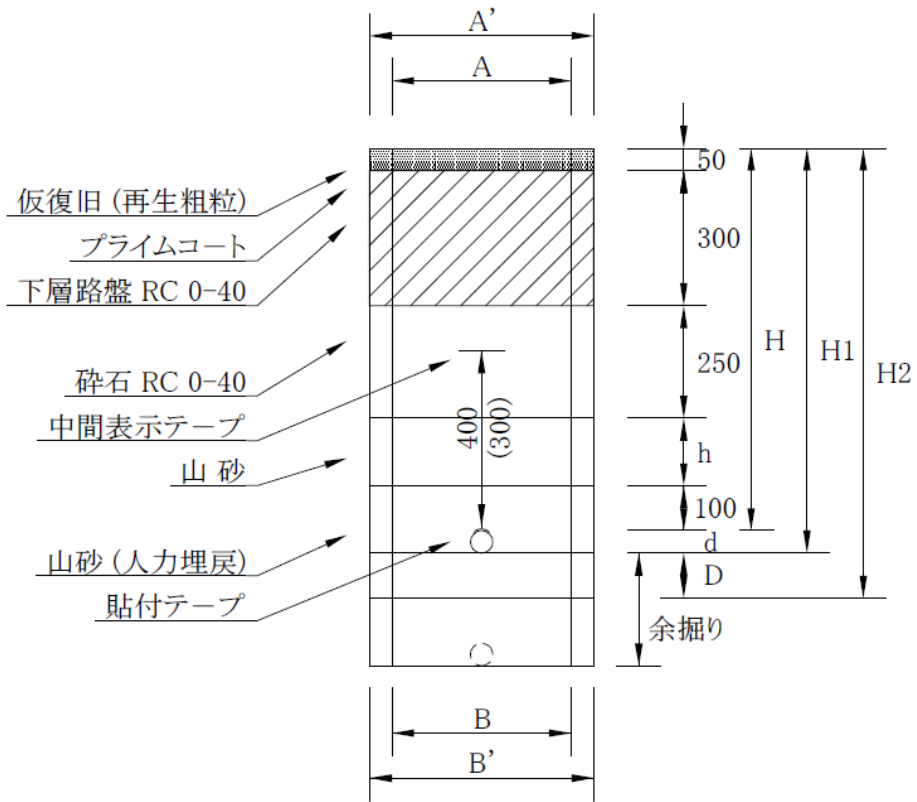
舗装復旧構成図



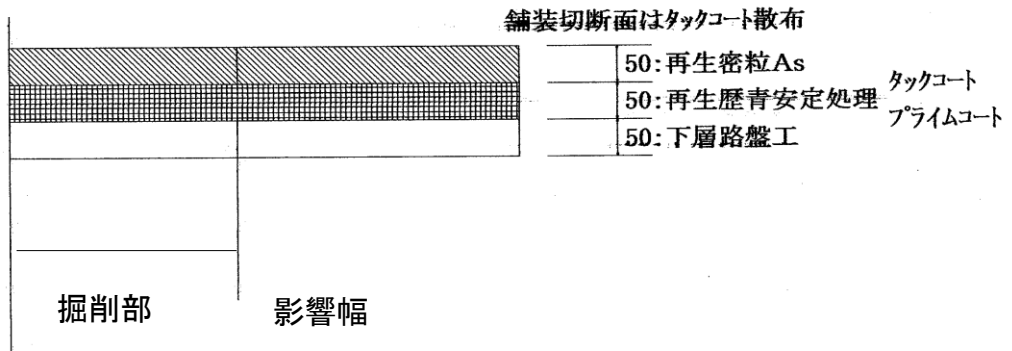
※ 仮復旧の条件（密粒、粗粒）が異なることがあるため、道路管理者に事前協議を行うこと。

掘削跡復旧構造図

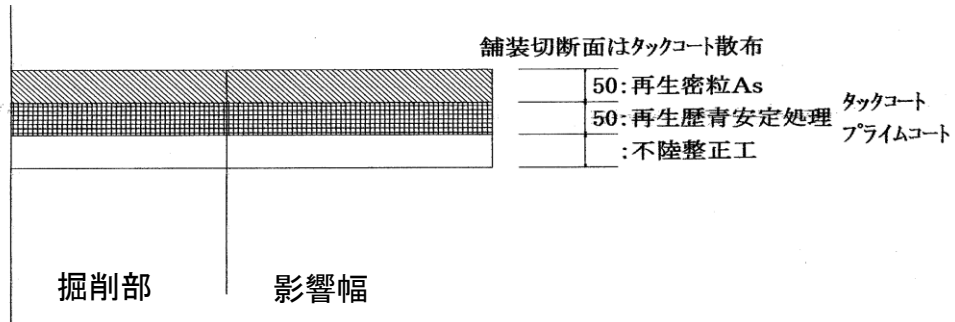
- B-1 タイプ
- B-1 (撤去有)タイプ
- B-1 撤去タイプ
- B-1 試掘タイプ



舗装復旧構成図



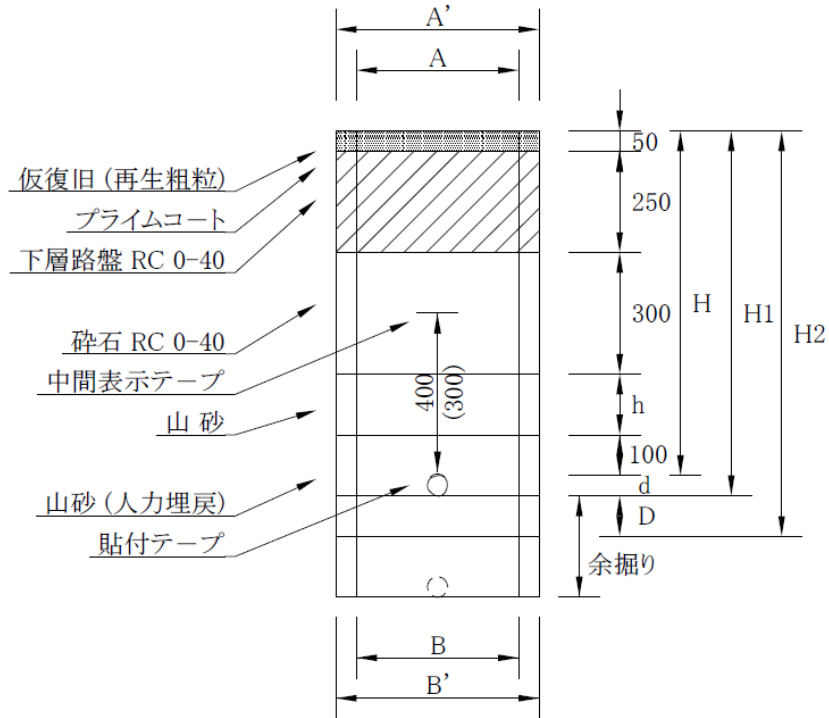
※ 舗装復旧構成図 (豊明市・東郷町・みよし市の場合)



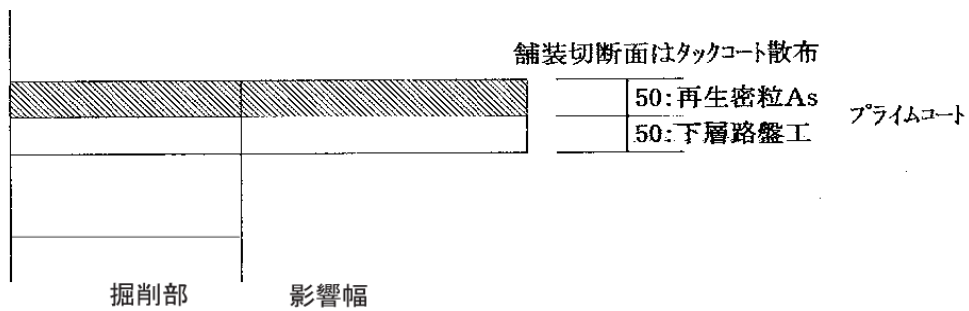
掘削跡復旧構造図

豊明市	L-1タイプ
東郷町	町道Iタイプ

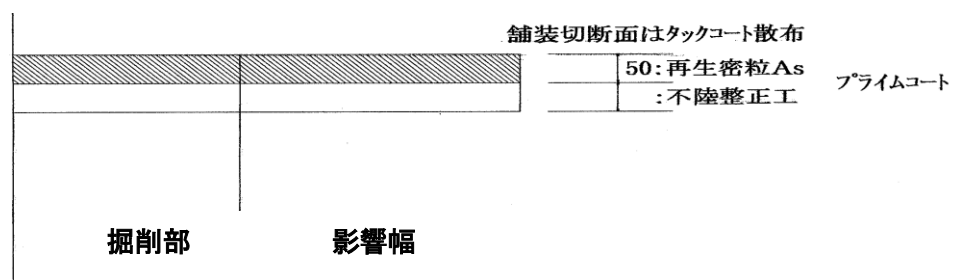
- L-1 タイプ
- L-1 (撤去有)タイプ
- L-1 撤去タイプ
- L-1 試掘タイプ



舗装復旧構成図



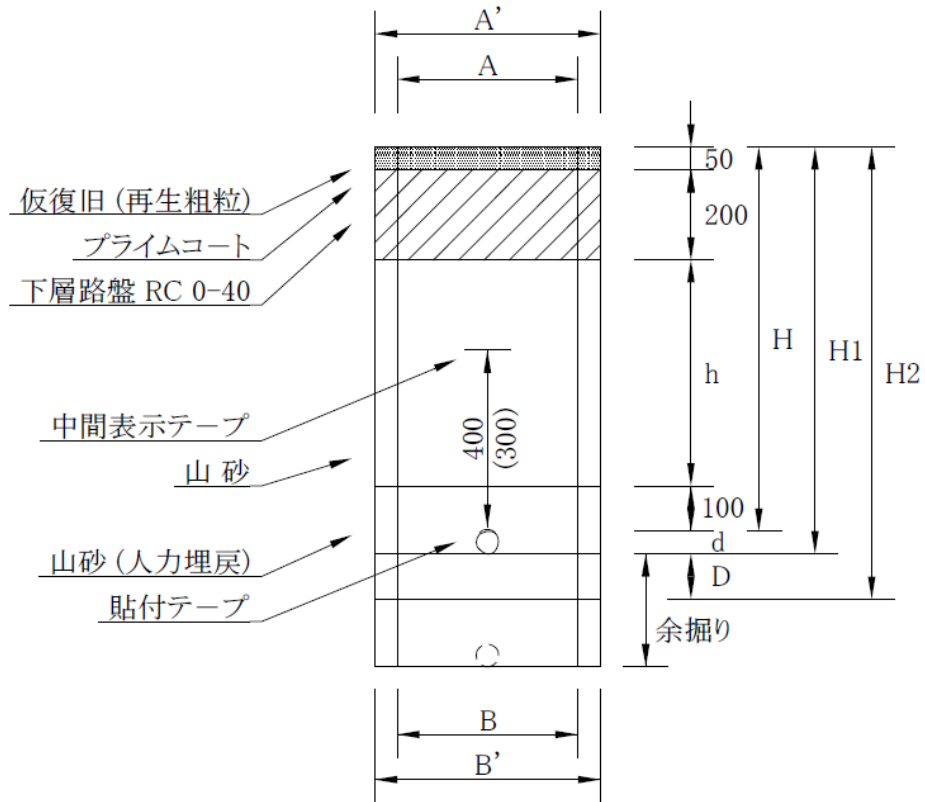
※ 舗装復旧構造図 (豊明市・東郷町・みよし市の場合)



掘削跡復旧構造図

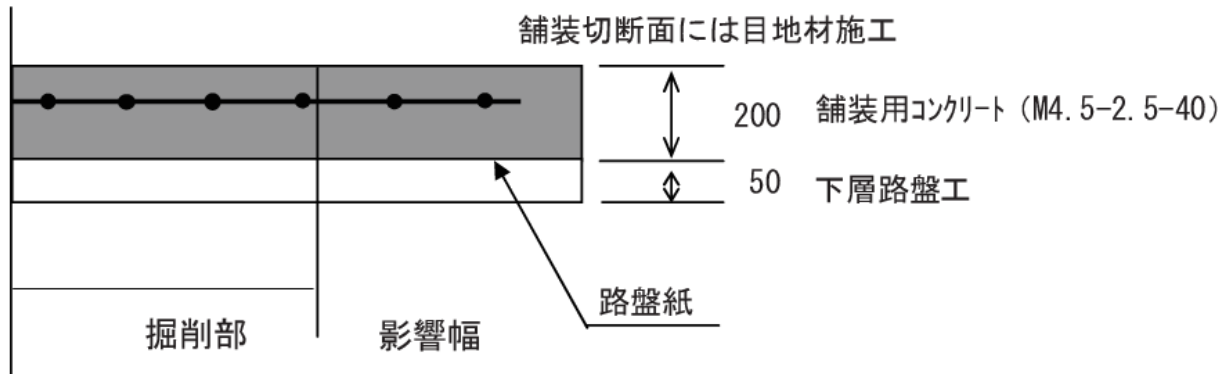
日進市 L-1タイプ

- L-1 タイプ
- L-1 (撤去有)タイプ
- L-1 撤去タイプ
- L-1 試掘タイプ

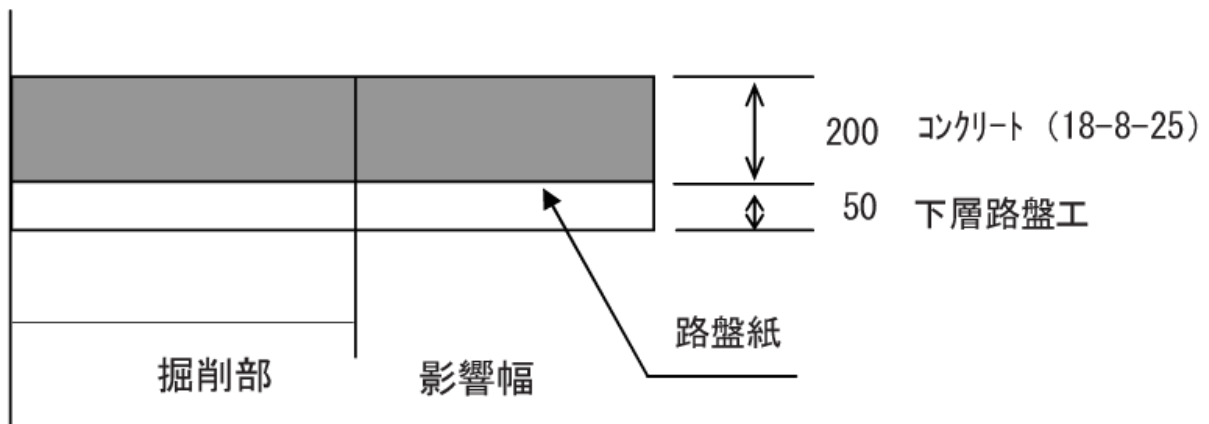


2 コンクリート舗装 (参考)

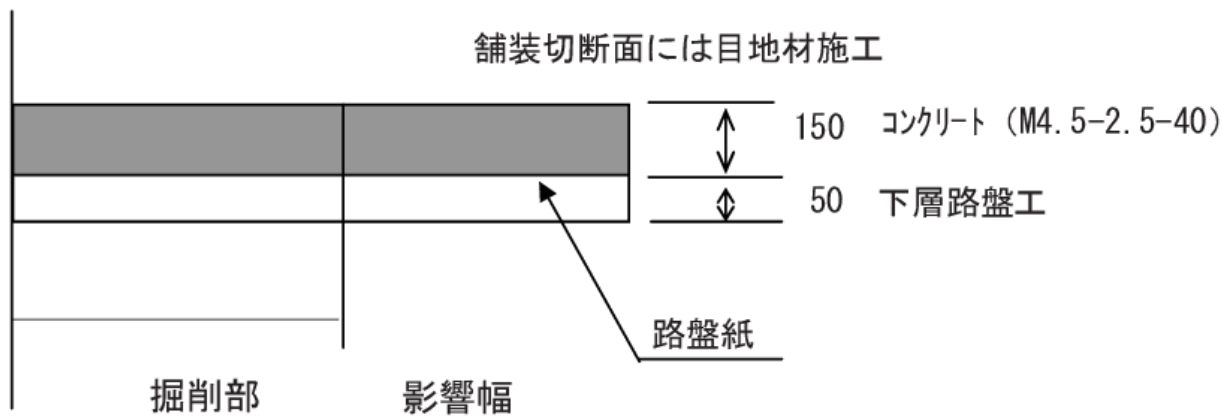
Co 舗装タイプ (t=200 鉄網有)



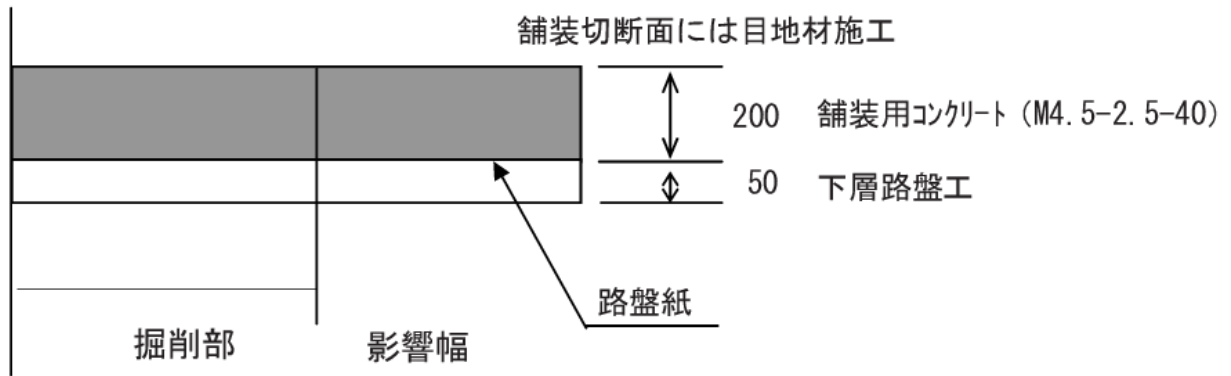
Co 復旧タイプ (t=200)



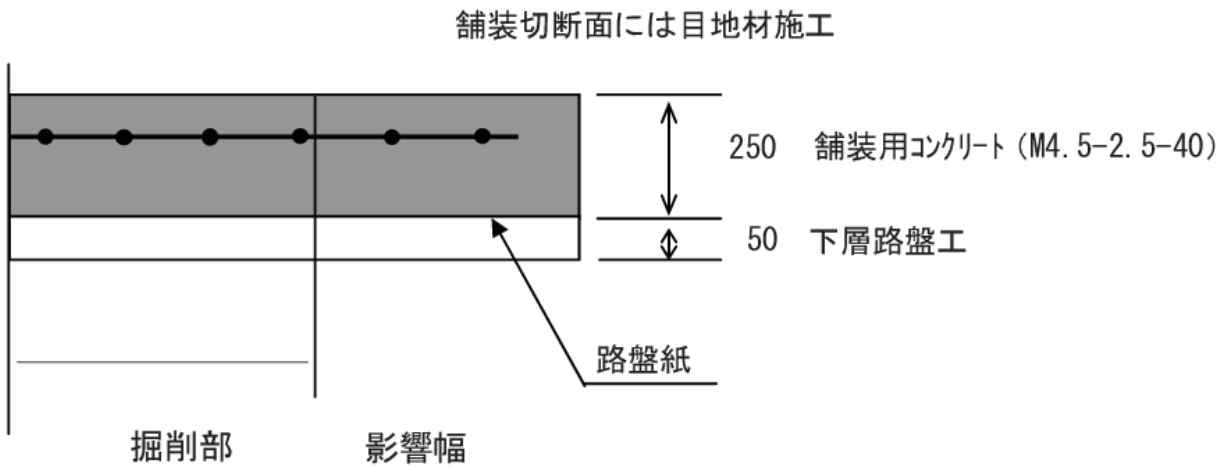
Co 乗り入れタイプ A型 (t=150 鉄網有)



Co 乗り入れタイプ B型 (t=200)

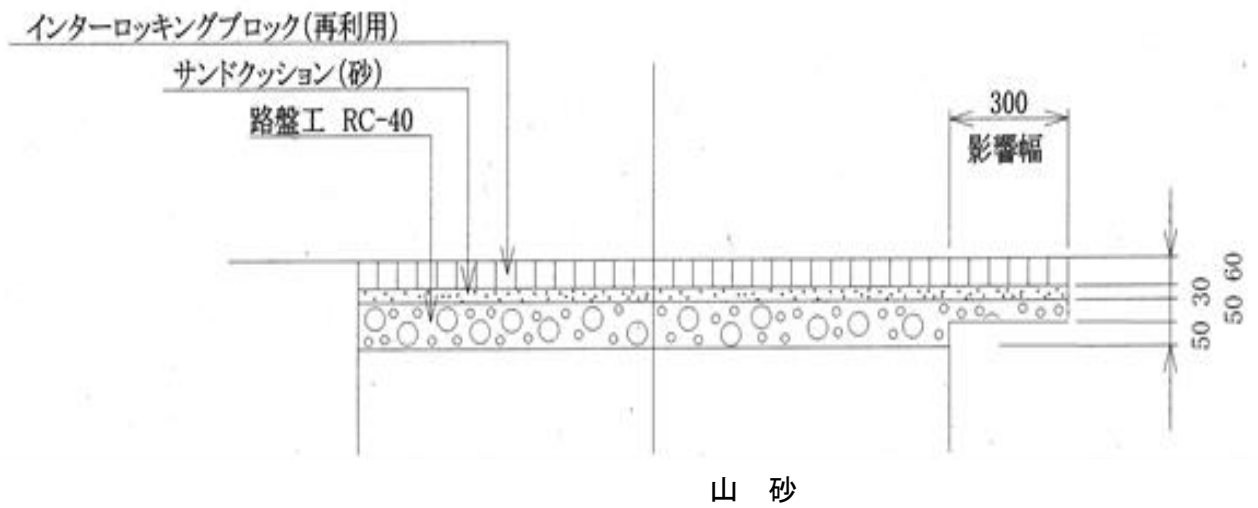
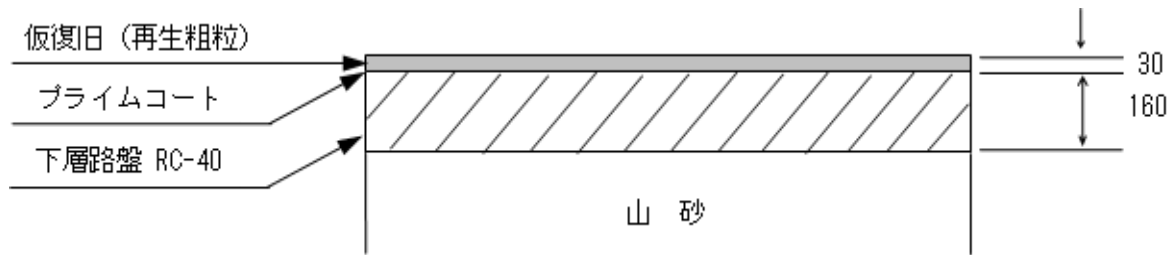


Co 乗り入れタイプ C型 (t=250 鉄網有)



3 インターロッキングブロック

掘削跡復旧構造図



4 再生碎石、山砂等の粒度範囲

(1) 下層路盤材

下層路盤材に使用する粒状路盤材は、下記表に適合するものとし、粘土塊、有機物、ごみ等を有害量含まず規格に適合すること。

路盤材料	試験項目	試験方法	規格値
クラッシュラン 砂利、砂 再生クラッシュラン	塑性指数 (P I)	舗装調査、試験法便覧 F 0 0 5	6 以下
	修正 C B R (%)	舗装調査、試験法便覧 E 0 0 1	※ 2 0 以上 〔 3 0 以上〕

- ※ ①特に指定がない限り最大乾燥密度の95%に相当するCBRを修正CBRとする。
 ②アスファルトコンクリート再生骨材を含む再生クラッシュランを用いる場合で上層路盤、基層、表層の合計厚が40cmより小さい場合は、修正CBRの規格値は〔 〕内の数値を適用する。
 ③再生クラッシュランに用いるセメントコンクリート再生骨材は、すりへり減量が50%以下のものとする。

碎石の粒度

単位 %

呼び名		粒度 範囲 (mm)	ふるいを通るものの質量百分率 (%)							
			ふるい目の開き (mm)							
			53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	4.75	2.36
再生碎石	RC-40	40~0	100	95~ 100	—	—	50~ 80	—	15~ 40	5~ 25
クラッシュラン	C-40									

(愛知県建設局 標準仕様書より)

(2) 上層路盤材

上層路盤材に使用する粒度調整路盤材は、細長いあるいは扁平な石片、粘土塊、有機物、ごみ、その他を有害量含まず下記表の規格に適合すること。

路盤材料	試験項目	試験方法	規格値
粒度調整碎石	塑性指数 (P I)	舗装調査、試験法便覧 F 0 0 5	4 以下
	修正 C B R (%)	舗装調査、試験法便覧 E 0 0 1	8 0 以上

粒度調整路盤材の粒度範囲

単位 %

呼び名	粒度範囲 (mm)	ふるい目の開き (mm)									
		53	37.5	31.5	26.5	19	13.2	4.75	2.36	4.25 μm	75 μm
粒度調整碎石											
M-40	40~0	100	95~100	—	—	60~90	—	30~65	20~50	10~30	2~10
M-25	25~0	—	—	100	95~100	—	55~85	30~65	20~50	10~30	2~10

(3) 山砂 (不洗い)

埋め戻し及び敷用に使用する山砂は、ごみ、泥、有機物等有害物を含まないものとする。

ふるいの呼び寸法 (mm)	ふるい通過重量百分率 (%)
4.75	80~100
2.36	50~100
0.075	0~10

(愛知県企業庁 工事標準仕様書【追録】水道、工業用水道管路より)

※ 埋め戻し用砂については、この表より粗粒のものが含まれていても埋め戻しに相当であると思われる材料は、あらかじめ監督員と協議するものとする。